



みどり

第501号

発行

公益社団法人
徳島県環境技術センター

徳島市津田海岸町2-33
電話 (088)636-1234(代)
FAX (088)636-1122

<https://www.tokushima-env.jp>

新年のご挨拶

会長 田村 茂人



令和4年の念頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、当センターの会員の皆様方、関係機関の皆様方におかれましては、平素から法定検査をはじめとする当センターの事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、猛威を振るい続ける新型コロナウイルス感染症は、引き続き様々な事業や活動の自粛あるいは中止を余儀なくし、人々の生活や経済に甚大な影響をもたらしました。国内ではワクチン接種率の上昇と共にようやく11月頃から少しずつ落ち着きを見せ始めましたが、海外では変異株が流行しつつあり、まだ予断は許せません。

7月から8月にかけては、低気圧や前線の活動による大雨が全国各地で多くの被害があり、伊豆山土砂災害では家屋の被害とともに多くの人命が失われ、被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り致します。

また、8月には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、選手たちのすばらしいパフォーマンスは、多くの人々に感動をもたらし、世界中に夢や希望を与えてくれました。この開催にあたっては様々な意見がある中、結果として無観客による開催となりましたが、大きな混乱もなく招致国としての責任を果たし、海外からも賞賛されたことは、同じ国民として誇りに思います。

徳島県では、令和2年度に設立された「とくしま浄化槽連絡協議会」により、汚水処理人口普及率の向上に向けた合併浄化槽への転換促進の方策、適正な維持管理の徹底、災害発生時の支援ルールづくりなどに取り組み、浄化槽にかかる様々な課題に対し官民協働で解決を図るべく協議して参りました。

その一つの実績として、当センターでは、法定検査をはじめとする浄化槽の維持管理を適正に行う管理者に対しプロワ交換費の一部を補助する制度を創設し、令和3年10月に試験的に運用をスタートいたしました。

た。この半年間で実績を検証し、今年4月からは正式に採用する予定ですが、この取り組みが契機となって、法律に基づく適正な維持管理の遵守がさらに浸透することを期待しております。

また、新型コロナの影響により実施できなかったセンター事業については、徐々にではありますが感染予防や人数制限の対策を講じながら、「普及啓発活動」、「環境学習」、「浄化槽管理士講習」等を実施したほか、WEB会議を併用しながら「所属部会」や「地区報告会」などの会員活動も開催できましたので、これからは新しい生活様式に柔軟に対応しながら組織力の強化を図っていきたく考えております。

生活排水処理の主体が浄化槽となる当県において、まだ課題は数多くありますが、公益法人としての社会的責任を果たし、徳島県の水環境保全並びに公衆衛生の向上を図るためには、我々自身が率先して行動し、徳島県独自の施策を見出していくべきであると認識しております。

役員・職員一同精進して参る所存ですので、今後ともより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年 元旦

会長 田村 茂人

謹賀新年

昨年中はいろいろとお世話になりました。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年 元旦

監

事

理

事

常任
専務
理事副会
会
長

志摩

長地

三好

高橋

林

岩本

高尾

森

李保

井内

加統

田村

恭臣

孝夫

一生

良太

哲郎

英司

武司

玄徳

恭章

孝明

叙男

茂人



令和3年度 第7回 理事会を開催

県環境技術センターは、12月6日(月)午後3時から理事10名、監事2名の役員が出席し、第7回理事会を開催した。

理事会の議案及び協議・決定事項は以下のとおり。

《協議事項》

	協議事項	協議内容
1	センター購入土地の利用計画について	購入した隣接土地の利用について協議した結果、次の目標計画に沿って進めて行くことを決定した。 ＜短期利用計画＞ 【敷地】検査（法人）車輛駐車場として活用（車止めの設置、ライン引き） 【既存事務所】事務作業が出来る環境に整備（警備保障の手配、事務設備、ネットワーク環境・機器の設置） 【既存倉庫】検査用具・タイヤの保管及び車輛整備室として活用 【その他】合併浄化槽への転換、建物の破損箇所補修 ＜長期計画＞ 高速道路整備中の事務所東側の土地を取得し、浄化槽管理士講習など100人規模の講習が可能な施設を構えるために資金積立を行う
2	センター各種部会の開催について	12月に開催する各部会の日程を報告するとともに、議題とする内容について承認を受けた。なお、開催日程は以下の通り 【施工部会】 12/13 10:00 【清掃部会】 12/15 10:00 【保守点検部会】 12/15 13:00 【メーカー部会】 12/16 14:00
3	令和4年度センター人事について	令和4年度のセンター人事について協議し、対外的事業を行う部署の設置などの提案があったが、兼務により事業が手薄とならないよう人材の確保を含めて検討していくこととした。

《報告事項》

	報告事項	報告内容
1	会員企業の退会について	会員企業より退会届が提出された旨を報告した。 ＜退会企業＞ 企業名：(株)勝水工業 所属部会：施工部会
2	執行理事の業務報告について	11/4～11/29の執行理事の業務報告を行った。
3	各事業のスケジュールについて	直近で開催するセンター事業について報告した（事後報告含） ①「浄化槽の日」ポスターコンクール表彰式 (11/17)

		②全浄連第4回正副会長会 (11/25) ③徳島県県土整備部部長訪問 (11/25) ④全浄連保守点検・清掃委員会 (12/15)
4	次回理事会の日程調整について	第8回理事会を1月7日(金)14時から開催することとした。
5	その他	①令和3年度省エネ型浄化槽システム導入推進事業の実績について 徳島県の申請件数について報告した。 TYPE1（機械設備等の改修）：15件（18,524,000円） TYPE2（本体交換）：0件 ②給与規程にかかる手続きについて 給与規程の改訂にあたり、従業員代表から意見書の提出を求めた上で労働基準監督署に提出することを報告した。 ③浄化槽放流ポンプ不良による緊急的な清掃の実施について センターが管理する浄化槽の放流ポンプが故障したため、緊急的に清掃を実施し、対応した旨を報告した。

全ての議事が終了したため、午後4時40分に閉会した。



【お知らせ】講習会の中止について

新型コロナウイルスにより全国各地で新規感染者数が最多更新する状況になり、徳島県でも警戒レベル2に引き上げられました。

この状況を受けまして、感染拡大防止と受講者の皆様の安全確保のため、下記の講習を中止することにいたしました。

お申込みいただいた皆様におかれましては、誠に恐れ入りますがご了承いただきますようお願い申し上げます。

【中止】

○2月3日(木)

令和3年度 浄化槽技術講習会

主催 (公社) 徳島県環境技術センター・徳島県浄化槽管理士会

○2月16日(水)～18日(金)

浄化槽技術管理者講習会（徳島会場）

主催 (公財) 日本環境整備教育センター

令和3年度「浄化槽の日」 ポスターコンクール 表彰式を挙行

令和3年11月24日(水)午後2時30分より、徳島グランヴィリオホテルヴィオリームにおいて、令和3年度「浄化槽の日」ポスターコンクールの表彰式が執り行われた。

昨年と同様、県水・環境課が募集した「下水道の日」標語コンクールの受賞者表彰式も併せて執り行われ、表彰式には、飯泉知事・榊徳島県教育委員会教育長・田村県環境技術センター会長及び最優秀賞を受賞された大館果林さん（三加茂中学校3年）、和田実結さん（新町小学校3年）のほか、優秀賞を受賞された6名、及び付き添いの保護者など多数の方々が出席した。

飯泉知事が一人一人に賞状を授与し、最後に受賞者の皆さんと主催者の飯泉知事・榊教育長・田村会長と一緒に記念写真を撮り表彰式を終えた。

優秀作品については、令和3年度「浄化槽の日」ポスターコンクール優秀作品のカレンダーを作成し、コンクール参加校及び表彰者全員の他、当センター会員・行政機関など関係機関へ配布している。また、徳島県庁1階県民ホール北西部において一般公開展示が行われ、徳島県の生活排水対策や下水道及び浄化槽の普及啓発活動に用いられた。



令和3年度 CO₂排出抑制 対策事業費等補助金 【577件を受付】

（一社）全国浄化槽団体連合会は、2021年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（省エネ型浄化槽システム導入推進事業）の交付申請の受付を、令和3年11月30日をもって終了した。

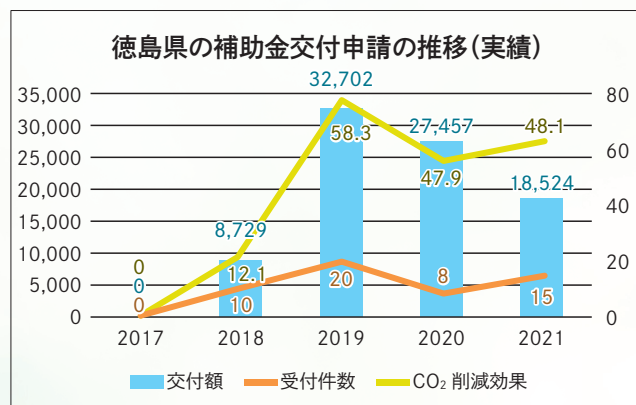
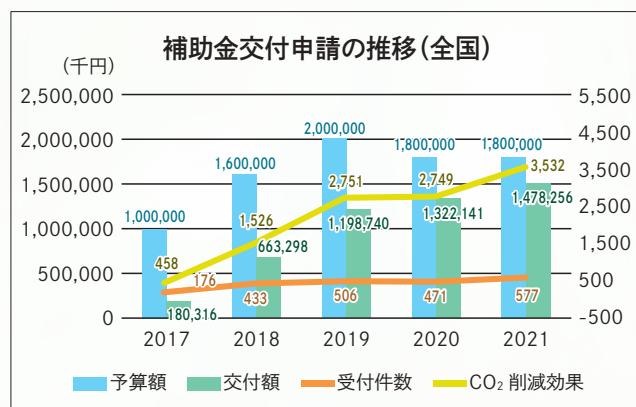
全浄連の資料によると、受付件数577件（昨年度471件）で、うちType1が503件（同417件）、Type2が74件（同54件）であった。補助金交付額は合計1,478,256千円（同1,322,141千円）で、内訳は、Type1が658,239千円（同520,958千円）、Type2が820,017千円（同801,183千円）であった。予算額18億円（同18億円）に対し約82.1%（同73.5%）の達成率となった。

なお、当センターが本年度受付した徳島県内の事業件数は15件（昨年度8件）で、補助金申請額は18,524千円（同27,457千円）で昨年度比で8,933千円の減額となった。

内訳は住宅4件、宿泊2件、医療6件、店舗1件、娯楽1件、学校1件であった。

また、この事業により、徳島県内での二酸化炭素の削減量は48.1t/年の削減効果が見込まれる。

※補助金交付申請件数及び交付額は、11月末現在のものです。件数及び交付額については変動する可能性があります。





浄化槽月間啓発活動実施

徳島県では、10月1日の「浄化槽の日」にちなみ、10月を浄化槽月間と定め、毎年浄化槽の適正な維持管理、浄化槽の普及啓発に関する啓発活動を実施している。

今年度は、4日間にわたり、三好市・東みよし町・北島町・阿波市・阿南市の計5ヶ所の会場に、県水・環境課・保健所、県民局職員、市町職員及びセンター職員が参加して行われた。また、三好市・東みよし町の会場には、市町村設置型浄化槽PFI事業者である(株)三好浄化槽ネットワークと(株)東みよし浄化槽整備の職員も参加した。

今回の活動では、来場者約1,100名の方に、浄化槽の転換や適正な維持管理を啓発するチラシとマスクをエコバックに入れて配布した。三好市と東みよし町では、PFI事業者からペンや防災グッズなどが配られた。

今年もマスクや手袋を着用した感染対策に配慮した活動になったが、合併処理浄化槽への転換や維持管理に関して質問や意見を持たれている方も多く、参加した職員が詳しく説明を行っていた。三好市・東みよし町では、「もう市に管理してもらっとんのよ。」「この前は水質検査の人が来てくれたよ。」「合併槽にするときはどこに相談行ったらいいんかいな。」などの意見があった。

日頃の生活で浄化槽について話題にすることは少ないと思われるが、この活動では、来場者のお考えを聞く件数が毎年増えてきている。浄化槽への関心をさらに高めるため、今後も啓発活動が発展するように努めたい。



阿南市



三好市



北島町



東みよし町



◀阿波市

水質計量便り

～植物の生存競争～

コロナ禍を背景に、キャンプをはじめ自然とのふれあいをレジャーとして楽しむことが増えています。確かに野山に生息する多様な植物は、地域独特の分布を見ることがあり、非日常的な気分させてくれます。

しかし、見方を変えると特有な植物の分布状態は多くの植物の生存競争の結果を示しています。競争の手段も多様ですが、その一例として化学物質を使う植物もあります。

例えば、昔からクルミの木の下では、他の植物の生育が悪いと言われています。これはクルミ類が他の樹木との共存をすることが苦手な樹木であるため、他の植生が進出してくることにに対し、「ユグロン」と呼ばれる化学物質を分泌し他の植物の発育を阻害していると言われています。このような現象をアレロパシー（他感作用）といい、「ある植物が他の植物の生長を抑える物質（アレロケミカル）を放出したり、あるいは動物や微生物を防いだり、あるいは引き寄せたりする効果の総称。」としています。

これはクルミ以外の植物にも見られます。

外来種のセイタカアワダチソウもそのひとつでユグロンを分泌しています。そのためセイタカアワダチソウが周辺に生えている植物の生育を阻害し、空き地などで短時間で勢力を伸ばす姿をしばしば見かけます。その圧倒的な繁殖力に一時は日本古来のススキを駆逐するのではと危惧されたほどです。

しかしこのセイタカアワダチソウは、ススキを絶滅することはありませんでした。

不思議なことに、セイタカアワダチソウにはユグロンへの耐性が無く、自ら分泌する化学物質で自らの成長を阻害し、その土地への定着を阻害する奇妙な植物なのです。

動けないがゆえの植物の進化には、静かなる生存競争が繰り返されているのですね。

by koizumi

事務局だより

法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

○11条検査

日程：令和4年2月1日～令和4年2月22日
地区：鳴門市、松茂町、阿南市

○7条検査

日程：令和4年2月1日～令和4年2月22日
地区：藍住町、北島町、石井町、上板町、板野町、小松島市、美馬市

○那賀町検査(らくらくあんしん協議会)

日程：令和4年2月1日～令和4年2月22日
地区：那賀町全域

○神山村検査(神山村きれいな水づくり協議会)

日程：令和4年2月1日～令和4年2月22日
地区：神山村全域